

アンケート調査について（案）

0. 基本の方針

- ・ 各市町村教育委員会の施設整備担当課長等を対象にアンケートを実施。
- ・ 悉皆調査とする。
- ・ 調査を短期間で行うため、なるべく簡潔な調査項目とする。

1. 学校施設全般について

現在保有する学校施設に対する意見【**いずれかに**】

ア．建物の耐震性(非構造部材含む)	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
イ．避難所機能などの防災機能	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
ウ．不審者対策などの防犯機能	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
エ．建物の老朽化対策（内外装の安全性やトイレの衛生状況など）	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
オ．多様な教育内容に対応した機能	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
カ．省エネなど環境性能	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
キ．施設のバリアフリー化	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
ク．情報化への対応	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
ケ．施設の広さ	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
コ．空調など建物の温熱環境	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
サ．余裕教室の活用	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
シ．地域との連携の場としての機能	(十分 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 不十分)
ス．その他	(具体的に記述)

今後、特に重要と考える学校施設整備の課題【**上位3位まで順位を記載**】

ア．建物や非構造部材の耐震化	()
イ．防災機能の強化	()
ウ．防犯対策に配慮した整備	()
エ．老朽化した施設の再生（内外装の改修やトイレの改修など）	()
オ．多様な学習活動に対応した整備	()
カ．環境を考慮した学校施設づくり	()
キ．施設のバリアフリー化	()
ク．情報化への対応	()
ケ．教室不足など学習スペースの確保	()
コ．空調設置などの快適な環境確保	()
サ．余裕教室の活用	()
シ．地域との連携の場の確保	()
ス．その他（具体的に記述）	()

2. 学校施設の老朽化対策について

(1) 老朽化の現状について

主に老朽化が原因で発生した事故や問題点

【過去3年以内にあった件数・主な内容を記載】

ア. 安全面：

建築物が経年によって損傷を受け、例えばその一部分（モルタル、タイル、窓など）が脱落するなどの事例

件数 (平成23年度 件)

(平成22年度 件)

(平成21年度 件)

主な内容 ()

イ. 機能面：

劣化が進行し、例えば雨漏りが生じたりして学校での活動に支障をきたしたり、財産を損傷するおそれがあった事例

件数 (平成23年度 件)

(平成22年度 件)

(平成21年度 件)

主な内容 ()

教育委員会が把握している範囲で計上してください。なお、自治体名は非公表とします。

東日本大震災等の大規模災害によるものを除きます。

3年間把握していない場合は、把握している範囲で回答することとし、最低でも1年分は回答してください。

写真もあれば代表的なものを添付してください。

新聞・雑誌等で取り上げられたものについては、その記事を添付してください。

老朽化対策において課題と考えている事項【上位3位まで順位を記載】

ア. 劣化状況の的確な把握 ()

イ. 施設情報の集約化 ()

ウ. 効率的な管理手法の導入 ()

エ. 長寿命化対策等の進め方 ()

オ. 目標とする老朽化対策の度合いが不明 ()

カ. 必要な予算の確保 ()

キ. 必要な補助メニューがない ()

ク. 自治体内部の優先順位が低い ()

ケ. 専門的な人手の不足 ()

コ. その他（具体的に）

(2) 計画的な整備について

校舎・体育館の老朽化に係る改築（建て替え）周期

【いずれかに、複数の場合は平均的なもの】

ア. 目標、目安としている周期

(~34年、35~44年、45~54年、55~64年、65~74年、75年~、なし)

イ. これまでの実績

(~34年、35~44年、45~54年、55~64年、65~74年、75年~、なし)

校舎・体育館の大規模改修の周期【いずれかに、複数の場合は平均的なもの】

ア．目標、目安としている周期

(～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36～40年、40年～、なし)

イ．これまでの実績

(～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36～40年、40年～、なし)

中規模な改修の周期

ア．目標、目安としている周期

防水改修

(～15年、16～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36年～、なし)

外装改修

(～15年、16～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36年～、なし)

内装改修

(～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36～40年、41年～、なし)

電気設備改修(主として照明)

(～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36～40年、40年～、なし)

機械設備改修(空調)

(～15年、16～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36年～、なし)

機械設備改修(衛生)

(～15年、16～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36年～、なし)

イ．これまでの実績

防水改修

(～15年、16～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36年～、なし)

外装改修

(～15年、16～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36年～、なし)

内装改修

(～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36～40年、41年～、なし)

電気設備改修(主として照明)

(～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36～40年、40年～、なし)

機械設備改修(空調)

(～15年、16～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36年～、なし)

機械設備改修(衛生)

(～15年、16～20年、21～25年、26～30年、31～35年、36年～、なし)

改修事業の優先順位づけの方法【該当するものに、重複可】

ア．建築年で判断 ()

イ．改修履歴で判断 ()

ウ．現地調査による劣化状況で判断 ()

エ．学校等からの要望で判断 ()

オ．自治体の計画や首長の方針により判断 ()

カ．地域のバランスに配慮して判断 ()

キ．その他(具体的に)

改築事業の優先順位づけの方法【該当するものに、重複可】

- ア．建築年で判断 ()
- イ．改修履歴で判断 ()
- ウ．現地調査による劣化状況で判断 ()
- エ．学校等からの要望で判断 ()
- オ．自治体の計画や首長の方針により判断 ()
- カ．地域のバランスに配慮して判断 ()
- キ．その他（具体的に）

改修ではなく改築を選択する理由【該当するものに、重複可（改築実施又は予定の自治体のみ）】

- ア．コンクリートの強度不足 ()
- イ．法定耐用年数の超過 ()
- ウ．改修コストがかかりすぎる ()
- エ．改修では近年の教育内容に対応できない ()
- オ．地元や学校からの要望 ()
- カ．その他（具体的に）

老朽化対策の積極的取組状況【いずれかに】

- | | | | |
|----------------------|-----------|-----|-----------|
| ア．建物の劣化診断 | (取り組んでいる | 検討中 | 取り組んでいない) |
| イ．中長期計画の策定 | (取り組んでいる | 検討中 | 取り組んでいない) |
| ウ．施設の長寿命化 | (取り組んでいる | 検討中 | 取り組んでいない) |
| エ．ライフサイクルコストの算定 | (取り組んでいる | 検討中 | 取り組んでいない) |
| オ．計画的な予防保管理 | (取り組んでいる | 検討中 | 取り組んでいない) |
| カ．その他（具体的取組内容があれば記載） | | | |

(3) 老朽化対策に関する要望について
国に提供してほしい情報【自由記述】

()

補助制度への要望【自由記述】

()

(4) その他

老朽化対策について感じていることがあれば自由に記載してください。【自由記述】

()

概ね25年以上経過した建物を想定して回答することとしてください。
アンケートに対する回答内容について、自治体名は公表しないこととします。
回答内容は、各自治体の今後の整備計画と整合しなくてもよいこととします。